

**江東区大島第五保育園
指定管理者（候補者）の推薦について**

令和5年8月

江東区公の施設に係る指定管理者選定評価委員会

保育所専門部会

目 次

I	施設及び指定管理者（候補者）概要	・ ・ ・ ・ ・ P 1
II	選定方法	・ ・ ・ ・ ・ P 2
III	大島第五保育園選定結果	・ ・ ・ ・ ・ P 4
IV	外部有識者意見	・ ・ ・ ・ ・ P 1 7

< 参考資料 >

事業計画書	・ ・ ・ ・ ・ P 1 9
収支計画書	・ ・ ・ ・ ・ P 2 4
定款	・ ・ ・ ・ ・ P 2 5

I 施設及び指定管理者(候補者)概要

施設名		江東区大島第五保育園	
1	施設	所在地	江東区大島 4-21-3-101
		施設面積	延床面積 781.74㎡
			屋外遊戯場面積 726.91㎡
		構造	鉄骨造5階のうち、1階部分
		開設年月日	昭和57年6月1日
			平成31年4月1日より公設民営保育所として開所
		設置の目的	乳児、幼児その他の児童で、保護者の労働又は疾病その他の事由により保育が必要と認められるものを入所させ、保育する。
		設置条例	江東区保育所条例（昭和36年3月江東区条例第9号）
2	指定管理者（候補者）	名称	株式会社 日本保育サービス
		所在地	愛知県名古屋市中区葵三丁目15番31号 千種ニュータワービル17階
		設立	平成16年10月1日
		事業内容	保育所の経営
		運営実績（保育所のみ記載）	【公設民営】 11園 南砂第四保育園（江東区） 東京都：4園、埼玉県：2園、千葉県：2園、愛知県：2園 【私立保育所】 183園 アスクもんなか、アスク豊洲、アスク東大島（江東区） 東京23区：51園、東京都下：12園、神奈川県：67園、埼玉県：5園、 千葉県：10園、宮城県：9園、愛知県：7園、大阪府：6園、北海道：3園、 滋賀県：3園、沖縄県：3園、福岡県：2園、山形県：1園、福島県：1園 【認可外・認証】 8園 アスク亀戸（江東区） 東京23区：6園、東京都下：1園 【認可外・公設民営】 3園 東京23区：3園 【認可外・民設民営】 2園 東京23区：1園、東京都下：1園
3	指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日（5年間）	
4	推薦理由	上記法人について審査を行ったところ（審査項目及び結果については次頁以降を参照）、良好な結果を得た。 現在の運営法人は、指定管理移行時から児童福祉法に基づく適正な保育施設の運営を行っており、安定した施設の管理運営が見込める。以上の理由から、現在の運営法人を指定管理者として推薦する。	

Ⅱ 【選定方法】

1 非公募選定の方法

(1) 非公募選定の理由

非公募の理由は以下のとおりである。

- ① 指定管理者移行時から児童福祉法に基づく適正な保育施設の運営を行っている。
- ② 年度評価も優れており、指定管理者としての能力及び実績は十分にある。
- ③ 利用者アンケートでも多くの保護者から「満足」との評価を受けている。
- ④ 施設利用者の処遇・援助を目的とするため、利用者等との高度な信頼関係構築が求められる施設であり、引き続き管理を行うことにより安定したサービスの確保と事業効果が相当程度期待できる。

(2) 選定方法

以下の点について専門部会において書類審査、現地視察及びヒアリングを行い総合的に評価を実施した。

- ① これまでの実績、今後の計画が明確であること。
- ② 園の運営について保護者からの支持が得られていること。
- ③ 財務状況に問題がないこと。

ア 書類審査(第一次審査)

法人から提出された運営企画書、利用者アンケート及び財務諸表を基に実施した。

イ 現地視察・ヒアリング(第二次審査)

書類では確認できなかった部分について、現地視察を行うとともに、庁内において法人に対しヒアリングを行った。

2 選定の経過

日付	会議名	内容
令和5年2月27日	江東区公の施設に係る指定管理者選定評価委員会保育所専門部会	非公募の検討 選定基準(案)の検討
令和5年3月10日	江東区公の施設に係る指定管理者選定評価委員会	非公募選定の決定
令和5年5月10日 (書面開催)	江東区公の施設に係る指定管理者選定評価委員会保育所専門部会	選定基準(案)の再検討
令和5年5月15日	江東区公の施設に係る指定管理者選定評価委員会	選定基準の決定
令和5年8月2日	江東区公の施設に係る指定管理者選定評価委員会保育所専門部会	推薦候補者の選定

3 部会員名簿

江東区公の施設に係る指定管理者選定評価委員会保育所専門部会 会員名簿

役職	職名	氏名
部会長	こども未来部長	油井 教子
副部会長	保育計画課長	渡邊 明雄
	保育課長	鳥井 将弘
部会員	こども家庭支援課長	鳥谷部 森夫
	養育支援課長	小越 誠
	児童相談所開設準備担当課長	加納 正裕
	保育計画課保育計画係長	村神 徹
	保育計画課運営指導係長	横田 伸江
	保育計画課運営指導担当係長	伊藤 歩
	保育課保育管理係長	青柳 徳将
	保育課保育支援係長	佐藤 久美子
	保育課入園担当係長	相澤 美代
	亀高第二保育園長 (区立保育園園長会 会長)	石川 美和
	塩崎保育園長 (区立保育園園長会 副会長)	宮崎 薫
外部有識者		
事務局	保育課保育支援係	萩原 美里
	保育課保育支援係	宇田川 裕貴

Ⅲ 大島第五保育園選定結果

1 書類審査・ヒアリングの結果

(1) 運営企画書による評価

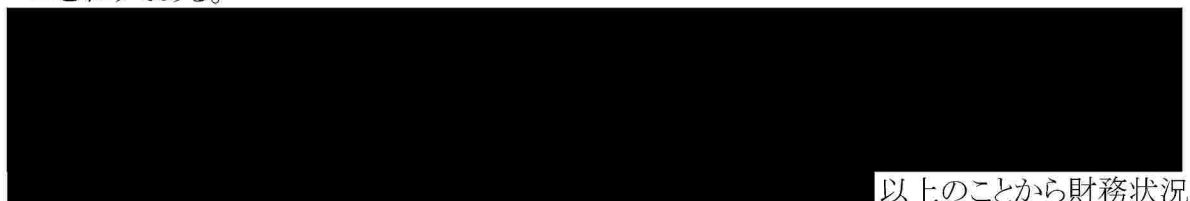
江東区公の施設に係る指定管理者選定評価委員会保育所専門部会会員による採点の結果は「**B評価**」である。採点詳細及び見解は5頁以下のとおりである。

(2) 利用者アンケートについて

令和元年から令和4年度までに実施した利用者アンケートの直近4か年の総合評価は「**A評価**」である。詳細は10頁のとおりでである。

(3) 財務状況審査

財務状況審査の基礎となる中小企業診断士による財務状況診断結果の詳細は12頁以下のとおりである。



以上のことから財務状況の総合評価は「**B評価**」である。

中小企業診断士による決算分析を基に、専門部会において財務状況を審査した。非常に優れた財務状況である場合はA、一部に懸念すべき点があるが支障がない場合はB、懸念すべき点が多く支障がある場合はC、財務状況が非常に悪く支障がある場合はDとした。

2 選定結果総括

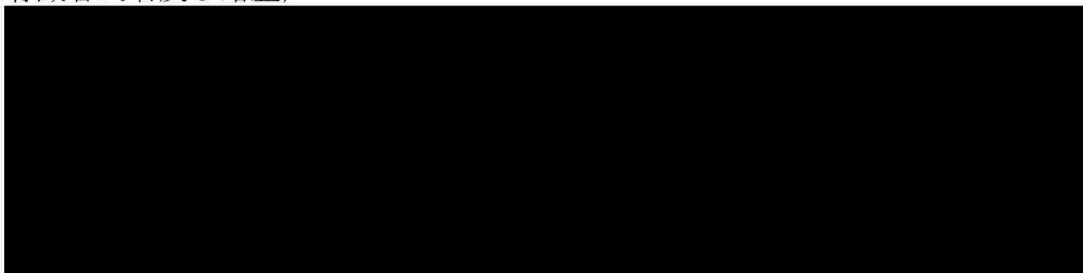
	実績・今後の計画 (運営企画書)	保護者からの支持 (利用者アンケート)	財務状況診断
大島第五保育園 (株)日本保育サービス	B	A	B

実績・今後の計画、保護者からの支持及び財務状況はおおむね良好であり、当法人については再指定が妥当であると考ええる。

3 外部有識者への意見聴取

江東区大島第五保育園における保育所指定管理者選定に関し、意見を聴取した。
(外部有識者氏名及び略歴)

氏名
略歴



意見聴取の結果については17頁のとおりでである。

【一次审查·採点表】

[illegible]

区分	選定基準	配 点		大島第五保育園	
	評価項目			(平均点)	(得点率)
2	特別保育事業に対する考え方	(小計)	40	29.8	74.6%
3	地域との関わりに対する考え方	(小計)	20	13.2	66.2%
4	職員配置	(小計)	20	15.4	76.9%
5	コスト削減	(小計)	10	7.4	73.8%
6	再指定に当たっての考え方	(小計)	10	7.2	72.3%
合計点（一次審査）		460点満点		331.0点	72.0%

【二次審査・採点表】

区分	選定基準	配 点		大島第五保育園	
	評価項目			(平均点)	(得点率)
1	保育園運営に関する考え方	(小計)	150	108.3	72.2%
2	特別保育事業に対する考え方	(小計)	40	29.5	73.8%
3	地域との関わりに対する考え方	(小計)	10	6.6	66.2%
4	職員配置	(小計)	20	15.4	76.9%
5	コスト削減	(小計)	10	7.5	75.4%
6	再指定に当たっての考え方	(小計)	10	8.3	83.1%
合計点（二次審査）		240点満点		176.0点	73.3%

【総評価】

総合計（一次・二次審査）	700点満点	507.0点	72.4%
※保育所専門部会員13人による平均得点を算出し、一次審査および二次審査の合計得点が配点の8割以上の場合はA、6割以上の場合はB、4割以上はC、4割未満はDと評価する。		評価（一次・二次合計）	
		得点率が 507点/700点＝ 72.4% よってB評価とする。	

【大島第五保育園の評価に関する見解】

審査項目	保育所専門部会としての意見
1 保育園運営に関する考え方	全体的に良好な運営が確認された。園の管理システムを活用し、行事だけでなく日常の様子も伝えられるよう写真付きで保育の様子を配信している。 また食育においては、広い園庭を活かし畑の数を増やして様々な野菜を栽培したり、人気の給食のレシピを保護者に配布するなど、積極的に取り組んでいる。
(保育に携わる職員としての基本的な資質の確保)	基本的資質として、子どもを好きな気持ちを前提に、責任感、保育スキル、職員間や保護者とのコミュニケーションのための社交性・協調性を大切にしており、等級別の研修において、「保育の質」、「子どもの人権」等の研修を行っている。経験年数の長い職員に対しても、「主任の役割理解」など改めて保育士としての責任やその職種に求められることを理解する機会を設けている。 園内研修・職員会議で人権チェックリストを用いて、不適切な対応がないか振り返りの時間を設けている。 昨年度の他県での保育士による不適切保育事案をきっかけに、あてはまるような不適切な声掛けなどを共有し、職員全員でディスカッションを行った。 子どもに対する性犯罪に関しては、不適切な対応がないように周りの職員にも一つ一つの行動を声掛けし、職員同士で共有している。
2 特別保育事業に対する考え方	2時間延長保育、スポット延長保育を実施している。 特別な配慮が必要な子供に対して、療育支援センターや巡回指導員と定期的に情報共有を行い一体的な支援を行っている。 また、知育プログラムである「もじかずランド」の導入を予定するなど、保護者ニーズに応えながら入学前に学びの楽しさを体感できるよう努めている。
3 地域との関わりに対する考え方	地域に根差した保育園として、近隣の子育て世帯に向けた離乳食試食会の開催や、小中高生の育児体験の受け入れの実施など、園を知ってもらおうべく交流を行ってきた。 コロナ禍においては、近隣の幼稚園・保育園とオンラインでの交流を行ったが、今後は近隣の長寿会が行う公園の花壇の手入れを一緒に行き、世代を超えた交流にも取り組む予定である。
4 職員配置	必要とされる職員数を配置するようにしており、引き続き安定的な職員配置が今後も期待される。 職員配置は、園の配置状況を本部で問題がないか確認している。離職者や休職者について、人員の抜けがないように同エリア内で早めに人事配置の検討を進めている。また、園長と本部で情報共有し、連携している。 長期安定雇用に向けた取り組みとしては、新人職員には先輩職員がペアとなって実際の保育の中で指導したり、他施設の先

	輩職員が相談役となるチューター制度を設けたりすることで不安解消、問題解決につなげている。 入社1年目には職員のコンディションを確認するアンケートを行っており、また、四半期ごとに全職員に向けたアンケートを行い、課題がある場合には園長やエリア長と相談できる場を設け、問題の早期発見に努めている。
5 コスト削減	保育園運営におけるコストの大部分は人件費であるため、大幅なコスト削減は困難である中、多くの施設を運営するスケールメリットを活かし、備品や消耗品を一度に大量購入し、単価を抑え不要な出費を抑える努力をしている。他園での経験を活かし、園に「経費削減担当」を置き、園内の電気・水道等無駄遣いなどを削減する工夫を考案・実践している。 また、業務の効率化として ICT 化により連絡帳を紙から電子に変更したことが職員の職務の軽減につながった。 作り物や書類作成、会議などを勤務時間内に実施するように努め、クラス会議を夜から日中の午睡中に変更したことで残業時間が削減された。
6 再指定に当たっての考え方	初めての再指定を迎え、職員も定着し安定した保育が実施できている。保護者からの信頼を高めることを念頭に、保育の見直しを継続し、直近の利用者アンケートでは高い満足度を得ることができた。 また、広い園庭を活かし、自分たちで栽培した食材を使用したクッキング保育による食育・食農や、食材の廃棄物を利用したコンポストの作成による SDGs への取り組みなど、独自の保育に積極的に取り組んでおり、今後も引き続き良好な運営が期待できる。

【利用者アンケート結果】

利用者アンケート(R1～R4平均)		大島第五保育園	
		肯定的な 意見の割合	評価
1	保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	93.5%	A
2	保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	91.8%	A
3	提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	80.2%	A
4	保育所の生活で身近な自然や社会と十分に関わっているか	70.7%	B
5	保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	75.9%	B
6	安全対策が十分取られていると思うか	61.6%	B
7	行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	78.4%	B
8	子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	76.3%	B
9	施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	76.7%	B
10	職員の接遇・態度は適切か	79.3%	B
11	病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	81.9%	A
12	子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	64.7%	B
13	子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	79.7%	B
14	子どもと保護者のプライバシーは守られているか	82.8%	A
15	保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	77.6%	B
16	利用者の不満や要望は対応されているか	69.0%	B
17	外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	47.8%	C
※ 肯定的な答えの割合が8割以上であればA、6割以上はB、4割以上はC、4割未満はDと評価する。アンケート結果全体を通してAまたはB評価の数が全体の8割以上であれば総合A、6割以上であれば総合B、4割以上であれば総合C、4割未満であれば総合Dと評価する。		A・Bの割合	総合評価
		94.1%	A

【参考】

令和元年度～令和4年度までの満足度平均

＜設問＞現在利用している保育園を見て総合的にどのように感じていますか

1	大変満足	31.9%
2	満足	53.9%
3	どちらともいえない	9.1%
4	不満	4.3%
5	大変不満	0.0%
6	非該当	0.9%
1・2の合計		85.8%
総合評価		A

令和5年8月2日

江東区公の施設の指定管理者選定委員会

保育所専門部会 部会長殿

江東区大島第五保育園における保育所指定管理者選定結果について

標記の件について、次のとおり報告します。

当該施設の指定期間中の運営状況に対する評価については以下のとおりである。

1 江東区大島第五保育園に関する評価

全体として、良好な園運営が確認された。園の管理システムを活用し、保護者に写真付きで日常の保育内容や行事について配信するなど情報提供に努めている。また食育においては、広い園庭を活かし畑の数を増やして様々な野菜を栽培したり、人気の給食のレシピを保護者に配布するなど、積極的に取り組んでいる。

園運営にあたり、必要十分な職員体制がとられており、新人職員には先輩職員がペアとなって実際の保育の中で指導したり、他施設の先輩職員が相談役となるチューター制度により不安解消を図るなど、職員の定着に努めている。

また、独自で保護者アンケートを実施し、知育・学習ニーズが高いという結果を受け、年長クラスを中心に小学校への接続を視野に入れたプログラムを導入する予定である。

新型コロナウイルスが5類に移行されたが、引き続き子どもたちの安心安全のため工夫して目標とする保育に取り組み、保護者や地域とコミュニケーションを図りながら保育の提供が行われている。

初めての再指定であり、民営化初年度は保護者との信頼関係の構築が課題であったが、直近（R4年度）のアンケートにおいては「大変満足」「満足」の合計が96.6%となっており、特に「保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか」の項目で100%の満足度を得るなど、着実に保護者との信頼関係が構築されていると考えられる。

2 結論

非公募について十分に検討を行い、また詳細に検討された選定基準及び評価項目を用いて審査を実施していることから、選定の手順としては極めて公平で妥当である。法人を選定するに当たっての3つの条件としている①実績及び今後の計画、②保護者からの支持、③財務状況診

断についても、再指定を判断する上での確な条件であると言える。

これらの判断基準に基づく審査結果によれば、全体的に区の求める保育サービス水準を満たす保育を実施しており、保護者からの満足度も高いことから、今後も保育所保育指針に定める基本原則を踏まえた上でさらなる保育内容の充実に努めることが望まれるが、事業者が変わることのリスク等を総合的に判断すると、上記施設に係る指定管理者候補者として、現運営法人とすることが妥当である。

氏名

